

臨時增刊 予算特集号 2010 4/25

NAGAOKAKYO

No.1015



まちと市民が元気、ぬくもり希望予算

今年度は、厳しい財政状況の中で、重要な施策へ優先的に予算を配分するために、事業を一から見直し、選択と集中を行いました。阪急新駅周辺の都市基盤整備や小中学校の耐震化、子育て支援の充実など、未来につながるまちづくりを進めていきます。みなさんに納めていただいている税金の使い道をお伝えします。

写真:地域子育で支援センターエンゼル(開田保育所内)で

未来を見据えて

財政の健全化

明日の夢を支える



明日の夢を支える

安心・安全な まちづくり



小中学校の耐震化

19億6,805万円

災害時用マンホールトイレの整備

3.825万円

ハザードマップの作成と全戸配布

645万円

自主防災組織の育成と拡大

(47組織→49組織) 147万円 防犯行動計画の推進 2,528万円

風呂川排水区の対策

(雨水幹線の枝線工事など) 1.666万円

地域力・文化力の向上 にぎわいのあるまちづくり

長岡



阪急新駅を拠点としたまちづくり (新駅舎建設、駅前広場の整備など)

4億3,153万円

阪急長岡天神駅周辺の交通社会実験の実施 2,970万円

JR 長岡京駅前道路の西伸整備

4,772万円

地域力の向上(長岡京こらさ開設、総合型 地域スポーツクラブの推進など) 2,897万円 文化力の向上に向けて 817万円 「国民読書年」を受けて図書館の図書 購入、学校読書活動の推進 2,546万円 恵解山古墳保存整備 419万円

環境と景観の創造

山 の



住宅用太陽光発電システム設置への助成

210万円

防犯灯の LED 化 96万円 地球温暖化防止実行計画の策定 90万円 水循環再生プランの策定 965万円 牛ゴミ処理機の購入補助 49万円 里山エリアの再牛事業 909万円 西山森林整備推進協議会への助成

450万円

キリシマツツジの景観重要樹木指定など

80万円

ガラシャ通りでの景観型防犯灯の設置

305万円

暮らしと産業を支える

子育て応援

待機児童対策(助成の拡充) ……………1,892万円 病後児保育体制の充実 ………………………… 2,394万円 私立幼稚園児の保護者助成 ……………5,765万円 子ども手当の支給 ………………… 13億5,252万円 育児不安解消の一助として ……………… 1,257万円 発達障がい児等への支援(5歳児健診の実施)…… 16万円 妊婦健康診査の公費助成(14回健診) …………6,252万円

きめ細かな暮らしのお手伝い

就労への支援(就労支援ネットワークの継続、緊急雇用創出 事業、ふるさと雇用再生事業の活用など) …… 2,804万円 多重債務者の自立支援 ………………… 20万円 視覚障がい者の就労機会創出 ………… 90万円 国保料率の据え置き

安心で健康な暮らしのお手伝い

高齢者虐待の緊急一時保護	0万円
高齢者への住宅火災警報器設置支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2万円
民間老人福祉施設・障がい者施設の整備支援… 1億430	0万円
長岡京はっぴいバスの運行助成 2,34	1万円
男女共同参画社会の実現に向けて358	8万円
後期高齢者の人間ドック助成100	0万円
女性特有のがん検診の推進 1,040	0万円

産業を支えるためのお手伝い

農林業振興(地産地消の推進、西山作業道の整備など) 1,301万円 中小企業への経営支援 (融資保証料補給金の限度額の引き上げ継続) ……167万円 商工会不況対策重点経営指導への支援………… 250万円 商店街街路灯の LED 化支援など…………154万円



財政の健全化

一からの見直しによる予算編成で経常経費を削減 人件費の抑制 財政調整基金とりくずしの抑制 地方交付税の不足分を立て替えるための市債発行額の抑制 事業仕分けの継続実施

ある」との思いがあります。 の基本は人であり、 ろうとしています。 に広がる中、 回復基調に乗り 厳しい財政状況ではありますが 夢を持ち続けられるまちづくりを のみなさんとの協働と対話を進 康」「安全」 本市の人口は8万人に迫 つつあるものの、 その総和が人口 私は をキー た世 「まちづくり 界同

化に全力で取り組んできました。 を見据えたまちづくりと行財政の づけたい長岡京の実現」 今年度は、3つの柱で予算編成に取 小中学校の耐震化を展開すると きめ細かな生活支援を実施 未来につながる施策と 「創造と共生で住み の2期目 に向け、



8万市民の 明 H 0 ため

243億6,160万円

10.7% *↗*

前年度比

政の健全化に努めていきます。 化など、今年度も引き続き、 財政状況が続く中、未来につな を配分しました。 の重要な施策へ、優先的に予算 がるまちづくりに向け、 始によるものです。依然厳しい の耐震化や子ども手当の支給開 ました。主な要因は、小中学校 万円 (10・7%)の増加となり 急新駅周辺の都市基盤整備など から見直しました。また、 効率的な行財政運営を目指 前年度と比べて23億5925 人件費の抑制や業務の効率 事業を 阪 (その他) 労働費 2億517万円(0.8%) 対前年度 3.7% 🔪 商工費 消防費 1億8,185万円(0.8%) 9億3,663万円(3.9%) 対前年度 3.6% 💃 対前年度 2.2% 🔪 健康診断やごみ処理など 衛生費 19億8,137万円(8.1%)

農林水産業費 1億1,958万円(0.5%) 対前年度 2.6% 🔪

2億9,150万円(1.2%)

対前年度 2.3% 🔪

予備費

3,200万円(0.1%)

対前年度 0.0% →

福祉・保険・医療に

民生費

歳

出

した。

には「事業仕分け」も行いま しの参考とするため、昨年夏

②編成方針に基づき、

職員が

243億6,160万円

84億2,848万円(34.6%)

対前年度 17.2% 🖊

小中学校や生涯学習、

41億9,344万円(17.2%)

A①市の計画や市民要望、 Q成立までの手順は?

会情勢などをもとに、

編成方

針を定めます。事業内容見直

対前年度 45.9% 🥕

学校耐震化に

教育費

道路や公園などの整備に

対前年度 6.4% 💃

土木費

22億1,701万円(9.1%)

対前年度 0.6% ↗

借金の返済に

公債費

23億8,335万円(9.8%) 対前年度 4.7% 💃

行政運営に 総務費

33億9,122万円(13.9%)

対前年度 2.8% ↗

●今年度の特徴●

子ども手当の支給による増額 民生費 教育費 小中学校の耐震化による増額

目的別 何のために使うか?

お金の使いみち

A市が行うさまざまな仕事の、 す。家計でいう給料などの収 1年間の収入・支出の計画で といいます。 や教育費などの支出を「歳出」 入を「歳入」といい、生活費

Q予算とは?

般会計と特別会計とは?

間の予算が決定します。

表である市議会議員が審査

議会の議決を経て、

長が市議会に提出。市民の代

③出来上がった予算案は、 予算案をまとめます。

市

財政担当や市長の査定を経て 事業ごとの見積もりを行い、

A一般会計は、 事業の会計です。 まちづくりなど基本的な市の 特定の収入をもって運営す 福祉や教育、

予算のハテナ?



■歳出には2つの分類

とおりの分類方法があります。 目的別」と「性質別」 の 2

一目的別とは

とに分類するものです。 経費を行政サービスの目的ご

一性質別とは 経費を人件費などの性質によ

金の返済にあたる公債費など、 職員の人件費や生活保護費、 任意に削減することが困難な経 って分類するものです。 性質別のうち、 義務的経費は 借

設事業費などが含まれます。 震化や道路整備といった普通建 投資的経費は、 小中学校の耐

市民一人あたりの 予算

30万5,505円

*人口は平成22年4月1日 現在の7万9,742人で計算。

民牛曹 10万5,697円 教育費 5万2,588円 総務費 4万2,527円 2万9,888円 公債費 2万7,802円 衛牛費 2万4,847円 消防費 1万1,746円 議会費 3,656円 労働費 2,573円 商工費 2,280円 農林水産業費

1,500円

金管理などを明確にするため

る事業については、

収支や資

予備費 401円

貸付金 将来のための蓄え 1億8,910万円(0.8%) その他 積立金 対前年度 0.0% → 3,200万円(0.1%) 4億795万円(1.7%) 対前年度 0.0% → 対前年度 3.6% ↘ 特別会計への繰出し 繰出金 職員給与など 22億8,545万円(9.4%) 人件費 対前年度 0.8% ↘ 53億146万円(21.8%) その他経費 対前年度 1.3% 💃 道路や建物の整備や改修に (12.0%) 普通建設事業費 義務的経費(50・5%) 投資的 28億6,585万円(11.7%) 経費 歳 出 対前年度 92.4% 7 11.7% 243億6,160万円 施設の維持管理など 維持補修費 9,872万円(0.4%) 生活保護や福祉サービ 対前年度 5.7% 💃 消費的経費 スに (25.8%) 扶助費 47億7,208万円(19.6%) 賃金や委託料、消耗品 対前年度 30.7% ↗ など 物件費 ·部事務組合への負担 借金の返済に 27億523万円(11.1%) 金など 公債費 対前年度 0.6% ↗ 補助費等 22億1,700万円(9.1%) 34億8,676万円(14.3%) 対前年度 0.6% 対前年度 1.7% 💃 ●今年度の特徴●

中小企業や住宅新築への融資

子ども手当の支給による増額

小中学校の耐震化による増額

下水道事業特別会計の経費の見直しによる減額

乙訓環境衛生組合への負担金の減少による減額 補助費等

Q預金や借金があるの?

Aあります。 預金にあたるも 特定目的のための積み立てを 源不足に備えた積み立てや、 のを「基金」といいます。 財

しています。

処理をします。 業会計が、これにあたります。 ルに従い、

Aいいえ。 歳出に 不用額が出 Q予算は残したらダメなの? 許されません。 収入しなかったりすることは 歳入が予定以上にあるときに る場合でも無駄に使ったり、 繰り越しなどの 決められたル

A 独立採算で行う民間企業に Q企業会計とは? 似た事業の会計です。 財産区など、合わせて15事業 理します。これを特別会計と の特別会計があります。 いいます。市には国民健康保 介護保険、公共下水道、 一般会計と切り離して経 水道事

発行する地方債です。

時的に補てんする場合などに

合や減税による歳入不足を

建築など投資的事業を行う場 といいます。公共施設整備

借金にあたるものを「市債

一入ってくるお金

れる「依存財源」に区分できます。 主財源」と、国や府から交付さ 歳入は、 市が確保できる

税が中心です。 市民税や固定資産税などの市

きない財源です。 が行う事業の一定割合を国が補 よって市へ委託する場合や、 ある市債など、自主的に確保で 国や府からの交付金や借金で 依存財源の中の国庫支出金 国が行うべき事務を法律に 市

地方交付税は、 全国の自治体 国が交付する

助するものです。

間の市税などの財源の不均衡を 調整するために、

ものです。 国庫支出金は、 特定の目的の

地方交付税は使い方を制限され ために交付されるのに対して 今年度から支給が開始される

交付され、

児童手当からの増額

分は全額国が負担します。

子ども手当には、

国庫支出金が

地方消費税交付金 地方交付税 6億8,400万円(2.8%) 12億7,000万円(5.2%) 対前年度 0.4% ↗ 対前年度 47.7% 🥕 その他 府支出金 4億5,410万円(1.9%) 14億3,544万円(5.9%) 対前年度 13.6% 💃 対前年度 15.8% 🥕 市債 依存財源(40 自主財源 歳 25億6,610万円(10.5%) 対前年度 48.2% 🥕 市税(*) 59 243億6,160万円 120億2,785万円(49.4%) 5 % 5 % 対前年度 0.6% ↘ 国庫支出金 34億5,616万円(14.2%) 対前年度 56.3% ▶ 繰入金 11億6,405万円(4.8%) その他 対前年度 15.3% 💃 8億5,422万円(3.5%) 対前年度 0.1% ↘ (*)市税の内訳 諸収入-

●今年度の特徴●

市税 景気後退による法人市民税の大幅な減額 国庫支出金 子ども手当や小中学校耐震化による増額 市債 小中学校の耐震化や地方交付税の不足分を立て 替えるための市債発行額の増額

4億4,968万円(1.8%) 対前年度 5.5% ↗

地方交付税 国の地方交付税予算の増額による増額

区分	22年度

	区分	22年度	21年度からの増減	
市	個人	51億9,312万円	6,431万円	1.3%
民税	法人	6億5,811万円	△2億1,570万円	△24.7%
., 0	計	58億5,123万円	△1億5,139万円	△2.5%
	固定資産税	48億4,172万円	5,246万円	1.1%
#	怪自動車税	6,325万円	187万円	3.0%
ī	 たばこ税	3億3,040万円	1,418万円	4.5%
者	都市計画税	9億4,125万円	1,363万円	1.5%
	合 計	120億2,785万円	△6,925万円	△0.6%

*表の△は、マイナスを表しています。

■市債(借金)残高の推移

18年度	221億4,982万円
19年度	218億7,545万円
20年度	215億9,034万円
21年度	224億1,799万円
22年度	231億3,836万円

■基金(預金)残高の推移

54億215万円	
51億6,387万円	
42億6,772万円	
33億9,861万円	
26億4,826万円	

*数値は一般会計。21·22年度は見込み額です。

基金」の取り崩し額は抑えまし 事業の見直しを行い、財源不足 に備えた積立である「財政調整 が大きくなりました。 団塊世代の職員の大量退職に 「職員退職基金」の取り

崩

|基金(預金)は退職金で減る

えるための市債を発行します。 の地方交付税の不足分を立て替 ■市債(借金)は必要最低限に 小中学校の耐震化や、 国から

問高齢介護課介護保険係 3955·2059 951.5410

には

ちらも一般会計とは別に経理しています。特別会計は、特定の事業 ここからは、特別会計と水道事業会計の予算をお知らせします。 を行うための会計、 水道事業会計は公営企業の会計です。

険料や国・府からの支出金、 3%)の増加となりました。 からの繰入金を主な財源としています。 の増額などにより、増加傾向にあります。 国民健康保険は、 加入者が納める保 保険給付費 一般会計

前年度と比べて1億6164万円(2・ す。 厳しい状況が続いています。 療費が大きく伸びていて、 保険料収入の確保が難しくなっていま

き上げ、低中間所得層の保険料負担の 定保健指導にも力を入れています。 軽減を図りました。また特定健診や特

■高齢化に加え景気悪化の影響も

高齢化の進展や、

景気悪化により

7億6,460万円(10.5%) ■予算の推移

51億5,793万円(71.2%)

国庫・府支出金

16億2,073万円

国民健康保険料

17億8,479万円

(22.4%)

(24.6%)

保険給付費

18年度 61億3,770万円 66億548万円 19年度 20年度 66億1,819万円 21年度 70億8,874万円 72億5,038万円 2.3% 7 22年度

前期高齢者交付金

歳

歳

後期高齢者支援金等

入

出

72億5,038万円

共同事業交付金

-般会計繰入金

,4億2,896万円

2億9,465万円 (4.1%)

共同事業拠出金

介護納付金

3億499万円(4.2%)

7億2,821万円

(10.0%)

(6.3%)

(5.9%)

4億5,764万円

その他

その他

22億864万円(30.5%) 7億4,962万円(10.3%)

今年度は、保険料の賦課限度額を引 65歳以上の前期高齢者の医 事業運営は

■高齢化による要介護認定者の増加

から編成しました。

成1~23年度)」にもとづく利用見込み

|長岡京市第4期介護保険事業計画(平

(8・5%)の増加となりました。

予算は

前年度と比べて3億4941万円

年4月1日現在)で、昨年度と比べて0 本市の高齢化率は20・9% (平成22

> 7%増加し、 の増加を見込んでいます。 それに伴い、要介護認定者数も約5% 年々上昇しています。

より、前年度と比べて8・9%増加して 定者と介護サービスの利用者の増加に 前年度と比べて増加しています。 保険料収入は、昨年度の改定により、 歳出のうち、 保険給付費は要介護認

支払基金交付金 府支出金 般会計繰入金 12億8,020万円 6億3,789万円 6億6,645万円 (14.2%) (14.9%)(28.6%)基金繰入金 国庫支出金 7,409万円 8億6,451万円 (1.7%)(19.3%) 介護保険料 その他 9億5,070万円 518万円 歳 入 (21.2%)(0.1%)44億7,902万円 その他 出 歳 1,101万円 総務費 (0.2%)1億3,246万円 保険給付費 地域支援事業 (3.0%)42億1,208万円 1億2,347万円 (94.0%) (2.8%)

■予算の推移

18年度	34億4,844万円	
19年度	36億2,501万円	
20年度	37億5,572万円	
21年度	41億2,961万円	
22年度	44億7,902万円 8.5% /	

います。

僴上下水道部総務課下水道係

3955·9538

951.2200

 同上下水道部総務課水道係

3955·9538

951.2200

国庫補助金

2,950万円

下水道使用料

12億494万円

一般管理費ほか

8億2,396万円

(28.1%)

汚水築造費

(5.4%)

18年度

19年度

20年度

21年度

22年度

1億5,840万円

■予算の推移

(41.1%)

(1.0%)

-般会計繰入金

市債

6億9,870万円

その他

897万円

(0.3%)

(23.8%)

9億9,300万円

入

出

公債費 18億9,318万円

(64.5%)

8.7% >

(33.8%)

歳

歳

雨水築造費

41億6,983万円

33億8,274万円

32億1,642万円

29億3,511万円

32億70万円

5,957万円(2.0%)

29億3,511万円

■955-9703

公共下水道事業の特別会計

水道事業会計

(8・7%)の減少となりました。 新たに下水道管を入れるための事業 前年度と比べて2億8131万円

用が必要になります。 は耐震化を含めた改修や更新などの費 費は年々減少傾向にありますが、 歳出の中で、大きな割合を占めてい 今ま 今後

やかに減少する予定です。 少していることから、 ています。歳入は、 るのが公債費です。公債費では、 での工事にかかった借金の返済を行っ 借入額の市債が減 借金の残高も緩

|災害に強いまちづくりを目指して

大雨による浸水被害を防ぐための

水路改修工事や調査設計を進めていき

今年度は、長法寺小・長九小・長二中 ホールトイレの設置を進めています。 に設置する予定です。

*災害用マンホールトイレ

水を使用します。 ます。断水になっても、 置します。 を組み立て、仮設トイレとして使用し 水道に接続するマンホールトイレを設 避難場所となる学校の敷地内に、下 緊急時には、テントと便座 プールなどの

昨年度から、小中学校に災害用マン

■5つの基本目標に基づく事業展開

的収支」があります。

道施設を整備・改修するための「資本 送り届けるための「収益的収支」と水

の予算を編成しました。 の5つの基本目標に基づいて、今年度 昨年度に策定した「水道ビジョン」

安定して水を供給するために、基幹 管路を耐震化 安心・安全▽災害が起きた時も、 ▽災害に備えて、非

発電の活用

環 境

▽浄水場に設置した太陽光

る設計の委託 安定維持向上

をもとに独立採算制で運営しています。 会計や特別会計とは別に、料金収入など

水道事業会計には、

水道水を家庭に

3. 経営 採用し、 ノウハウを継承

▽経営の効率化による経費

どに設置する貯水槽水道の助言・指 業への理解を高めるために、 導によるサービスの向上 などの施設見学会を実施 サービス・信頼 ▽マンションな ▽水道事 浄水場

収益的収支(税込み)

収益的収入	水道料金	22億5,823万円
	受託工事収益	1億2,332万円
	一般会計補助金	6,963万円
	下水道徴収受託料ほか	9,694万円
	計	25億4,812万円
収益的支出	府営水道受水費	10億1,222万円
	減価償却費	4億2,410万円
	人件費	2億3,695万円
	修繕費	1億6,013万円
	支払利息	9,995万円
	動力費ほか	5億6,176万円
	計	24億9,511万円
当年度純利益		5,301万円

資本的収支(税込み)		
資本的収入	企業債	2億2,000万円
	加入金・分担金	5,922万円
	負担金ほか	262万円
	計	2億8,184万円
資本的支出	建設改良費	4億3,625万円
	企業債償還金	3億528万円
	計	7億4,153万円

資本的収支 (税込み)		
資本的収入	企業債	2億2,000万円
	加入金・分担金	5,922万円
	負担金ほか	262万円
	計	2億8,184万円
資本的 支出	建設改良費	4億3,625万円
	企業債償還金	3億528万円
	計	7億4,153万円

常用備蓄水を整備

水道事業は公営企業として、市の一般

定的に運営するために、技術職員を 老朽化した配水池を統合す ▽将来にわたって安 ▽水の安定供給